


創立 20 周年記念  
式典・祝宴

平成 14 年 9 月 8 日  
朝日町公民館にて

朝日町 2 丁目朋友会



## 創立 20 周年記念式典次第

- ① 開会のことば
- ② 物故者追悼の黙禱
- ③ 会長挨拶
- ④ 来賓祝辞 (自治会代表)
- ⑤ 来賓の紹介
- ⑥ 20 年の歩み報告
- ⑦ 記念品の贈呈
  - ◇ 公民館へ
  - ◇ 記念誌・記念品
- ⑧ 祝いの詩
  - ◇ 謡曲 「高砂」 竜野 寿子様
  - ◇ 詩吟 「祝賀の詞」 詩吟同好会
  - ◇ 謡曲 「老松」 上田千代子様
- ⑨ 閉会のことば

祝いの詩

謡曲

「高砂」 竜野 寿子様

高砂の尾上の鐘の音すなり 暁かけて霜は置けども  
松が枝の、葉色は同じ深緑立ち寄る蔭の朝夕に、描け  
ども落ち葉の尽きせぬは、眞なり松の葉の散り失せず  
して色はなお眞折（まさき）の葛ながき世の、喩えな  
りける常盤木の中にも名は高砂の、末代のためしにも  
相生の松ぞめでたき

「老松」 上田 千代子様

松竹鶴龜の齡（よわい）を授くるこの君の、行末守れと  
我が神託の告げを知らする、松風も梅も久しき春こそめ  
でたけれ

詩吟

「祝賀の詞」 詩吟同好会一同

四海並平らかにして瑞煙みなぎり五風十雨桑田を潤す  
福は東海の如くはるかに限りなく、寿は南山に似てと  
こしえに鶯（か）けず

鶴は宿る老松千載の色、亀は潜む江漢萬尋の淵  
芙蓉の雪大瀛（だいえい）の水、神州に磅礴（ほうはく）  
して九天に輝く

（意味）

世の中の波も平らかに平和に静かに治まっておめでたい  
煙が満ち渡っている。

五日の風も十日の雨も田畑を潤し豊年に導いてくれる。  
幸福は東海の広きが如くにどこまでも果てしなく、壽  
命は南山に似ていつまでも鶯（か）けぬ。鶴は老松に  
宿り千年の色を示し、亀は大河万丈の淵に潜み共に長  
寿の意を示している。

富士山の雪は消ゆることなく気高き姿をもって日本の  
誇りとなし、大海の水は尽きることなくその広きこと  
窮りなく、この気高き姿や広い気分が日本中に充満し  
て天までも輝きわたるのである。

朝日町二丁目

## 自治会だより No. 2

平成14年11月1日

### 「朋友会20周年 みなさんありがとう」

朋友会 会長 久保 瑞祥

私たちの朋友会が創立20周年を迎え、8月にどんぐり公園で「ふれあい祭り」を、また9月には公民館で祝賀式典のまねごとを催しました。

年寄りが勝手に作ったグループであったかも知れませんが、そして今は昔を懐かしんでの老人の勝手な思いつきを、あのよう盛り上げて頂いたことを心中涙が溢れんばかりに嬉しく感謝しております。ありがとうございました。

二十歳の成人式にしみじみと思ったことは、親があって子が育ち、先輩があってこそ後輩がそれを引き継いでいける。朋友会も親のように温かく育ててくれたのが、自治会と言う名が代表する地域であり、物故会員42名を含めた先輩会員あつての現在の私達だということでした。

この20年の伝統の灯火を消すことのないよう、無力ながらも一層の努力をすることをお約束し、朝日町2丁目、そして近隣のお仲間にも過去・現在を謝し、併せて将来もよろしくと心からお願いいたします。



## 「朋友会の活動」

昭和56年10月18日産声をあげた私達朋友会と言う名の老人仲間、会員10数名での発足でした。

それから20年が経過し、現在では80名に及ぶグループです。とはいうものの、所詮寄る年波、身体を自由に動かせる方は限られたものとなっています。

自治会を始め地域の温かいご支援によって今日あるこの会です。これを繋いで行くには、職場を去られたご主人、また主婦をある程度卒業されたご婦人が入会され、楽しいふれあいの場で繋いでいただく外ありません。

私達は年間の活動を月1回として次のような目安で考えています。

- |             |                 |               |
|-------------|-----------------|---------------|
| ☆ 年度始めの総会   | ★ 春・秋の旅行        | ☆ 春・夏・秋・冬の誕生会 |
| ★ クリスマスパーティ | ☆ 新年会           | ★ 健康について勉強体験会 |
| ☆ ふれあいの集い   | ★ 地域公園清掃奉仕(年2回) |               |

朋友会は決して小難しいものではありません。どうかお気軽に一、二度私達の集いの場を覗いてみて下さい。お待ちしております。



お願い

通行の安全の為に道路に出ている木の剪定をお願いします。

## その他の報告

### 1) 自治会会員名簿及び自治会会則の発行

自治会会員名簿の訂正をお願いします

・自治会会員名簿

ページ 7、16 14班 吉田 小久⇒子久

・とじ込み班編成図

廃品回収置き場 14番を消す

### 2) 朝日町公民館の机購入

移動が楽なキャスター付き机13台を購入 合計448,035円(ネームシール代含む)

朋友会10万円、こすもす会3万円の援助金を頂きました。

残金は朝日町公民館運営委員会の会計より支払いました。

### 3) 住宅地図の書き替え 3ヶ所実施

住居表示プレートの配布

### 4) 敬老の御祝いとして70歳以上104名の方にカステラを贈りました。

なお合同会議で来年度より75歳以上としてはいかがかという意見がありました。

### 5) 緑の羽根として15,000円自治会より寄附

赤い羽根として270,000円自治会より寄附

別に赤い羽根募金として1,600円集まりましたので届けました

## お願い

不審な車やバイク、不審者を見かけた時や放置されている自転車やバイクを見かけたら下記へ電話して下さい。  
特徴も忘れずに(色、ナンバー、大きさ、型 等)

0742-49-0110 (奈良西警察署)

## 中塚基金について

- 1 ほうゆう 2号 平成 元年 7月発行  
朋友会 会旗出来あがる  
中塚さんの寄付金と、故浅子 進さんのお父さんのご好意により、紺地に金糸の刺繍で丸く朋友会と描いた立派な会旗が出来上がりました。末永く大切に使用させていただきます。(原文通り)
  - 2 ほうゆう 11号 平成 6年 正月発行  
中塚基金設立(平成5年度) (平成6年1月12日設立)  
かつて会員だった中塚君子様から昨秋本会に、金300,000円のご寄付いただきました。折角のお志を大切に、有意義に使わせてもらうため、しばらくは中塚基金として、保管することになりました。平成元年にも同額のご寄付を頂戴しました。現在ある朋友会 会旗は、それで新調したものです。再度にわたるご好意に厚く感謝申し上げます。(原文通り)
  - 3 ほうゆう 14号 平成 7年 6月発行  
中塚様へ感謝状贈呈  
中塚田鶴子様より、会の運営活動発展の一助にと、昨年末に金300,000円ご寄贈いただきました。感謝の意を、ささやかな感謝状に託し、贈呈いたしました。ご寄贈のお金は「中塚基金」へ入れさせていただきます。(原文通り)
  - 4 中塚基金の確認出来る書類  
平成5年度の会計簿 会計 久保さん  
平成5年10月30日 寄付金 中塚さんより 300,000円  
平成6年 1月12日 中塚基金設立 300,000円 (設立時の預金通帳なし)  
平成7年 4月26日付け 新規 預金通帳現在高(利息含む?)605,616円  
上記以降は、平成13年4月10日まで毎年利息を預金より支出して、残高は600,000円となっていた。平成13年6月4日以降平成17年度まで毎年の誕生会(年4回)の誕生日プレゼント費及び朋友会20周年記念事業費とゲームの用具(輪投げの用品及び敷物)等に使用して、会計の引継ぎ(郵便局預金通帳の額面)時にわ通帳残高は、平成17年4月1日付けで145,552円でした。  
平成17年4月19日に預金を解約して、145,552円より、山本典之さんが平成17年度の誕生会記念品の購入立替代金74,592円(領収証2枚分)を解約金より支払う。残金は70,960円となる。
- ☆ 予備金121,318円(現金で引継ぎ)+中塚基金残額70,960円=192,278円を、南都銀行学園前支店へ普通預金として新規通帳をつくる。(平成17年6月24日)

以上

- ① 開会のことば
- ② 物故者追悼の黙祷 各 30秒
- ③ 会長挨拶
- ④ 来賓祝辞 (自治会代表)
- ⑤ 来賓の紹介
- ⑥ 20年の歩み報告 (山本)
- ⑦ 記念品の贈呈 公民館へ
  - ◇ 公民館へ
  - ◇ 記念誌
  - ◇ 記念品 500 (500)

- ⑧ 祝いの詩
  - ◇ 謡曲 上田千代子
  - ◇ 同 竜野 寿子
  - ◇ 詩吟 詩吟同好会
- ⑨ 閉会のことば

祝 宴 順 序

- ① 開会の挨拶
- ② 20年の思い出 (大西ケイ)
- ③ 乾杯 (多田あさひ会長)
- ④ 会食懇談

- ⑤ 余 興
  - ◇ カラオケ同好会
  - ◇ 祝い唄 (高見美枝子)
  - ◇ 太極拳 (岩井精一郎)
  - ◇ 唄 (村井 康弘)
  - ◇ 唄 (山本 夫妻)
  - ◇ 随時随意出演
- ⑥ 謝辞と閉会のことば

○ 8/29 AM 祝宴

8/29 AM  
カラオケ同好会

・ 祝文 1000字以下

- 1. 山本 健二
- 2. 多田 健二
- 3. 山本 健二
- 4. 村井 康
- 5. 山本 健二

○ 6曲の唄 - リーダー - 2曲

【記念式典出席予定者】

♥ 高齢者      ○ 役員

1 班 (15人)		2 班 (10人)		3 班 (9人)	
吉田 孰	○	高見美枝子	○	近藤 芳枝	○
福田チヨ子	♥	上田千代子	♥	大西 ケイ	♥
村井 康宏		川下 善忠		山本 教一	○
村井 竜子	○	岡本ユキエ	♥	松本 寿子	○
浦 茂男	○	吉田 文栄	○	松川 澄子	
山本 典之	○	岩井精一郎	○	杉藤 民信	♥
山本美也子	○	大森志津江	♥	荒木 富子	♥
綾野 正美	○	久保 瑞祥	○	堀川美知江	○
竜野 寿子	♥	田頭 秀子	♥	原田 好子	
杉本 義治	○	三光 紀彦			
住田 倫子	○				
木村 泰治					
益尾 興					
井上 正子	♥				
柳瀬 茂男	♥				

【招待来賓者】

- |           |     |                  |
|-----------|-----|------------------|
| ◎ 自治会代表   | 中島様 |                  |
| ◎ 自治会代表   | 砂金様 |                  |
| ◎ あさひ会長   | 多山様 |                  |
| ◎ いずみ会代表  | 土田様 |                  |
| ◎ 悠友会     | 代表様 |                  |
| ◎ 楽楽会長    | 田中様 | (所用のため午後一時頃来席予定) |
| ◎ こすもす会代表 | 西川様 |                  |
| ◎ こすもす会代表 | 玉上様 |                  |

## 創立 20 周年記念式典次第

- ① 開会のことば
- ② 物故者追悼の黙祷
- ③ 会長挨拶
- ④ 来賓祝辞 (自治会代表)
- ⑤ 来賓の紹介
- ⑥ 20 年の歩み報告
- ⑦ 記念品の贈呈
  - ◇ 公民館へ
  - ◇ 記念誌・記念品
- ⑧ 祝いの詩
  - ◇ 謡曲 「高砂」 竜野 寿子様
  - ◇ 詩吟 「祝賀の詞」 詩吟同好会
  - ◇ 謡曲 「老松」 上田千代子様
- ⑨ 閉会のことば

# 『ふれあい祭り』当日業務分担表

(主たる仕事) ☆チーフ

ポジション	朋 友 会	こすもす会
本部席	(総括) 久保 (総括補助) 山本典 (招待者用飲物券発行) 山本典 (招待者接待・お土産配付) ☆山本美 (踊手関係☆) 村井 (放送・進行) ☆住田 (高見, 村井)	立川, 山村, 上田 西川
パザー	☆堀川 (販売)  (金銭管理) 松本	山田, 嶋吉, 今井 岩崎, 松田
フリーマーケット	☆	
縁日遊び	☆吉田, 岩井, 杉本 山本教	井上, 本田
菓子等引換所	☆吉田文 (子供向け) # (ゲーム景品)	大野, 金井
飲物販売所	☆近藤 (引換・販売) (補充) (金銭管理) 杉本	鬼頭, 玉上, 山本
◎会場見回り・連絡	☆綾野, 和泉	中島, 吉田
◎写真係	浦	
◇盆踊り踊り手	(朋友会) 高見, 村井, 山本美	(こすもす会) 桑田, 岩崎, 福島 山本フ, 玉上, 鬼頭, 森垣, 本田

【平成14年8月21日】

### 第6回実行委員会協議資料

#### 《ふれあい祭り》

1. 無事成功裏に終わったことを喜び、天と人に感謝しましょう。
2. パザー協力者・祝い金拠出者・部外協力者にお礼状を送る。

#### ♥ パザー協力者

- 1班関係 ○ 住田 ○ 山本 ○ 今井 ○ 杉本 ● 加納  
● 吉岡 ● 影山
- 2班関係 ○ 高見 ○ 岩井 ○ 岡本 ○ 吉田 ○ 久保
- 3班関係 ○ 富田 ○ 岡 ○ 加藤 ○ 杉藤 ○ 大西  
○ 林田 ○ 河上 ○ 荒木 ○ 和泉 ○ 山本  
○ 加藤智恵子 ○ 近藤 ○ 西山
- その他 ● 浅子
- こすもす ○ 松田 ○ 玉上 ○ 金井 ○ 鬼頭 ○ 赤尾  
○ 山村 ○ 本田 ○ 加納 ○ 西川 ○ 森垣

#### ♣ 祝い金拠出者

- 河上 博  堀山  平城西小学校  あさひ会  
 朝日町一丁目自治会  川下善忠  永広真太郎  
 朝日町二丁目自治会  鈴木電気  染川美佐子

#### 《式典・祝宴》

##### 1. 招待者

- ① 自治会
- ② 近隣老人会長4名
- ③ こすもす会
- ④ 会員高齢者（昨年お招きした方でしばらく進み、将来は85歳以上とする）

##### 2. 記念品

- ① 朝日町公民館へ集会室用机購入援助金を
- ② 創立20年間の足取りを記した記念誌
- ③ 既に発行された機関誌『ほうゆう』の縮刷版綴り
- ④ 会員・招待者に置時計

##### 3. 会場の設営

- ① 立て看板・貼り付け看板
- ② 過去の記録写真を会場の壁に展示
- ③ 招待者の机に白布を
- ④ 花飾り
- ⑤ 受付を設け、出席者を類別して記帳する（招待者・高齢者・班別）
- ⑥ 階下和室を自由休憩室とし、自由に茶を飲めるようにする

以上

【平成14年8月21日】

## 第6回実行委員会協議資料

### 《ふれあい祭り》

1. 無事成功裏に終われたことを喜び、天と人に感謝しましょう。
2. バザー協力者・祝い金拠出者・部外協力者にお礼状を送る。

#### ♥ バザー協力者

- 1班関係 ○ 住田 ○ 山本 ○ 今井 ○ 杉本 ● 加納  
● 吉岡 ● 影山
- 2班関係 ○ 高見 ○ 岩井 ○ 岡本 ○ 吉田 ○ 久保
- 3班関係 ○ 富田 ○ 岡 ○ 加藤 ○ 杉藤 ○ 大西  
○ 林田 ○ 河上 ○ 荒木 ○ 和泉 ○ 山本  
○ 加藤智恵子 ○ 近藤 ○ 西山
- その他 ● 浅子
- こすもす ○ 松田 ○ 玉上 ○ 金井 ○ 鬼頭 ○ 赤尾  
○ 山村 ○ 本田 ○ 加納 ○ 西川 ○ 森垣

#### ♣ 祝い金拠出者

- 河上 博  堀山  平城西小学校  あさひ会  
 朝日町一丁目自治会  川下善忠  永広真太郎  
 朝日町二丁目自治会  鈴木電気  染川美佐子

### 《式典・祝宴》

#### 1. 招待者

- ① 自治会
- ② 近隣老人会長4名
- ③ こすもす会
- ④ 会員高齢者（昨年お招きした方でしばらく進み、将来は85歳以上とする）

#### 2. 記念品

- ① 朝日町公民館へ集会室用机購入援助金を
- ② 創立20年間の足取りを記した記念誌
- ③ 既に発行された機関誌『ほうゆう』の縮刷版綴り
- ④ 会員・招待者に置時計

#### 3. 会場の設営

- ① 立て看板・貼り付け看板
- ② 過去の記録写真を会場の壁に展示
- ③ 招待者の机に白布を
- ④ 花飾り
- ⑤ 受付を設け、出席者を類別して記帳する（招待者・高齢者・班別）
- ⑥ 階下和室を自由休憩室とし、自由に茶を飲めるようにする

以上

ふれあい祭り協力者役割分担表 (敬称略)

8月12日 準備日

おやつ、その他 (2名) 福島 玉上

バザー、準備 (4名) 森垣 桑田 金井 西川

8月17日 開催当日

販売、バザー (5名) 山田 嶋吉 今井 岩崎  
松田

販売、ジュース等 (4名) 中島 鬼頭  
玉上 山本

販売、ゲーム (5名) 吉田 井上 金井 本田  
大野

来賓接待関係 (4名) 立川 山村 上田 西川

バザー物品その他運搬 (3名) 中島 森垣 鬼頭

尚、踊り参加者の関係で多少の変更があります。

8/8 着

平成十四年 創立二十周年

懐かしいお文

会報

ほ

う

ゆ

う

から

朝日町二丁目朋友会

# 懐かしい人のお声

私たちの朋友会が誕生して、やっと二十歳を迎えました。

この間に会員仲間だけでも40人を超える方たちを天国に送りました。また、家庭事情等で遙か遠隔の地に転出された方もありました。

創立20周年を機に、ひとしお懐かしくあれこれと思い出されます。

そこで平成元年4月から発行された会報の『ほうゆう』から、その方々の文を拾い上げてみました。



## 朋友会のルーツ

大森喜市郎

私達が街角で出会って気さくに挨拶が出来る、心のふれあいの仲間が欲しい、と言う願いから、昭和56年に朋友会が誕生した。

我々の住宅は東急土地が開発した街で、あやめ池遊園地を足元に眺め、OSKの華麗さは、人々の羨望の的の地に移り住んだ。夏は涼しく冬は寒い、空気が新鮮で閑静な関西の軽井沢と自負している。この誇る地を永住の場として、心の交流を求め、自治会に労を願って心有る10数名の人々が集まり、会発足に呱呱の声を挙げた。

会の発足するには、名称、会則、代表者等の手順手続きが必要となってくる。会名は応募の結果FOR FOUを抜って朋友会と名付けさせて頂いた。

会の準備運営も私が操縦桿を握らせて頂いた。何はともあれ、市の万青クラブに加盟し、頂くものは頂こうと高をくくった。だ

が世の中はそんなに甘くない。加盟には条件があった。第一に平城西地区万青連合会を結成していること。第二に会員が30名から50名以上あること。

平城西地区連合会が日の目を見たばかりなのに、万青連合会なんて無理な話と思ったが、山に登るには絶壁にも挑まなければならぬ。新しい連合会を生み出す為に「ファイト」が湧いた。朝日町一丁目は会組織が出来ていない。泉会は連合会結成に双手を挙げてくれた。然し所属する学園北連合会は引き抜きと解してか離さない。交渉したが一向に埒があかないので、市の行政指導に委ねた。低姿勢の市担当者には前進がない。遂に課長に強談判して重い腰をあげさせて、矢のような催促攻勢にいたたまれず解決に至った。次に第二の条件をみたさねばならぬ。寒風に加えて吹雪に曝されながら、故人細川様と犬に吠えられたり玄関払いを受けながら門を叩いて、一人一人と会員獲得に意欲を燃やし奔走した。同志もよく頑張っていただき所期の目的にほぼ達した。欣喜雀躍として市に朋友会と連合会の結成届を提出し、遂に承認を得た。細川様と感激を分かち合った。

朋友会の会合には10数名が集まった。

皆様が緊張して三井、三菱の財閥の紳士、令夫人の如く納まって居られた。張り詰めた気分を和らげる為に、各人の故事来歴を話し合った。

私は大阪から、私は京都から、私は〇〇から等々自己紹介が終わるや、「あんた大阪の船場でっか」、「うち京都どす」と云う調子に俄然親密感が深まり和気藹々と賑やかさを取り戻した。その内出席者も増え、ある時は歌謡曲に、ダンスに、卓球に、カルタ取、川柳や俳句にと、次々と交流の輪広げた過ぎし日が懐かしく走馬灯の如くよぎる。

高齢化社会を如何に生きて行くかは私達の課題である。長寿大国と言えども自然の流れから見れば誠に短い人生だ。「一日生涯」が私の座右銘である。与えられた命を大切にしましょう。



## 本会最高齢者のお文

総会に寄せられたメッセージ

三枝政枝

定期総会のお知らせを頂き有難うございました。私も一度出席させて頂き会員の皆様方にお目にかかれたらどんなに嬉しいかと、機会あるごとに外に出て歩いてみておりますが、長い間家の中ばかりでおりますので、その関係か体がふらつき目まいがするので、歩くことは無理と思いました。

気ばかり若く持っても体の方がついて廻らないので残念です。

もう少し暖かくなり体の方も軽くなれば是非ともこの世のお別れに行きたいと張り切っております。

何といってもこの世とは糸すじ程のつながりで老後を細々とした余熱で生かして暮らしているようなことで残念ながらこの度も欠席させていただきます。

老衰は命あるものの避けて通れぬ宿命とあれば何ともいたしかたもございません。でも私はこの年まで病気一つしないでかわいい二人の子供を手元で育て今日の幸せを迎えることが出来まして、今はもう昔の苦勞なんか忘れてしまっただけ感謝・感謝の毎日、苦勞が感謝に変わってしまいました。

これであと十年若かってくれたら・・・と思いますが、それは余りにも無理なお願いですね。

自分ながら笑いながら書いています。とにかく今後は天命に素直に生きていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

希望も楽しみもなくなって心も沈みがちの私を立派な朋友会の一人として皆様のお仲間に入れて頂き何よりも嬉しく曇った気持ちも急に明るくなり、体にも急に活気も出てきました。今後

そろそろと歩く練習でもして元気になりたいと思っております。  
一寸と思ったのにいつの間にやらつまらぬ悪癖になってしま  
ってご免なさい。

※ 三枝政枝様は、明治 36 年 5 月 22 日生まれで今年 99 歳、本  
会会員の中の最高齢者です。会の創設時は、副会長、婦人部  
長としてお世話下さいました。これは、第 20 号(平成 10 年 6 月  
発行)に載せられたもので、95 歳当時のものです。  
現在は、大阪四条畷の介護老人施設「パークヒルズ田原苑」に  
入所しておられ、頭もお話もはっきりされ、お元気です。ただ  
少々足元が弱っておいででした。  
どうかお元気に百歳を迎えていただきたいと念じます。



末筆ですが私達と共に朋友会を育てて頂いた先輩を失い、深くご冥福をお祈りしつつ擲筆する。

- 大森喜市郎様は、初代会長として会の創設にご尽力いただきました。平成6年にご他界されました。これは第6号(平成3年7月発行)寄せられたものです。



## 99 ふれあい文化まつり

志手寿子

“ふれあい” “ふれあい” で朝を迎え、一日が暮れていったような、2・3カ月間であった。

何から、どのように手をつけたらどのようなイメージ構成ができるのだろうか？

「ああだろうか？こうだろうか？」悩み考え、工夫考案、知恵の出し合い、議論のしあい！「うまくできないのではないか」「いや！何が何でもやらねばならない」東に展示会あれば東に飛び、西にありと知れば西へ、そのエネルギーたるや、凄まじく涙ぐましいものがあつたのである。

とにかく「手づくり」「自分たちの工夫考案から生まれた手作り」の製品、「下手でいいのだ。ひょこ歪んでいてもいいのだ！

素朴な手作り製品が、熟年パワーの熱い思いと共に、あちらこちらから集められ、絵画・工作・手芸品・書・俳画・パッチワーク等々が無骨な手によって作られた展示会場に並べられ、これまた、手作りの照明灯の淡い光に典雅に彩られた時は、私達朋友会員の口から、思わず歓声もれたのである。

嬉しかった。熟年の私たちが、脚立をかけ、テントをはり、机を並べ、それぞれの特性／能力に応じて作成された展示会場に、手作り品が、柔らかな照明器具（手作り）によって典雅に会場を彩った。

久保様の朋友会の昔からの歴史を物語る十何年間かの「写真」！今は亡き方々の元気な笑顔！共に喜んでくれているかのようなお姿に、歴史・伝統……これこそ私達熟年者が、若い方々へのささやかなプレゼントとして伝えてゆくべきものではないだろうか。

フリーマーケットもすべて完売し、こすもす会員の皆様方の心を込めたお茶、お茶菓子の接待に、ご来場の皆様方の心は和み実に爽やかな「ふれあい文化まつり」の二日間でした。

★ 手作りの嬉しさ                      ★ 手作りのすばらしさ

皆様方のご協力に心から敬意と感謝をこめて、まずは心からお礼を申し上げます。

◎ 力をあわせること                      ◎ 心をあわせること

◎ 信頼の輪、ふれあいの輪を広げること

このことの偉大さを改めて確認した。

※ 志手寿子様は、長年にわたり役員としてご尽力いただきました。平成12年にご他界されました。これは第23号（平成12年1月発行）によせられた彼女の最後の手記です。





## 健康のしあわせ

細川コヨシ

健康で、日常生活が楽しく、多少でも他人様の世話ができるほど「幸せ」はありません。

私も生まれてから、七十余年を過ぎるまで、病気と名のつく病気は一度もしたことがなく、健康には、自信をもって暮らしてきましたが、平成元年9月に、突然「病魔」におかされてからは、毎年のように病気にかかり、病院とはすっかり仲良しコヨシになって、入院・退院の繰り返しで過ごしてきました。

その間、子供達にも心配をかけたたり、迷惑をかけたたりしてしまうし、皆様にも、大世話になり申し訳なく思っております。

今年に入り、やっと元の体を取り戻したように思っております。

とにかく健康でありますならばこそ、朋友会の同好会活動にも参加できます。ゲートボール・カラオケ教室にも出られて、とてもうれしく思います。

歌など、生まれてからこちら、唄うなど考えたこともありませんでしたが、歌とはいえない音痴で恥ずかしい限りの私が、どうにか唄えるようになりました。

これも会長さまを始め、志手さま、久保さま方のご親切なご指導のおかげです。心から嬉しく、本当に有難いことと思っております。

このような楽しさを味わえるのも「健康」であればこそと、感謝の日々を送らせてもらっております。

どうか会員のみなみな様も、健康で、楽しく元気な老後をお過ごしされますよう念じています。 《がんばりましょう》

● 細川コヨシ様は当初からの会員で、平成8年にご他界されました。これは第12号（平成6年6月発行）に寄せられたものです。

## 楽しいカラオケのお稽古

河本周子

私は、二年前間では歌うことができませんでした。というより歌を唄う機会などが全くなかったのです。皆様も同じように、きっと日々の生活の中で、唄うこと等、忘れられていたのではないのでしょうか。

でも、皆様の楽しそうな歌を聞かしていただいて、なんとかして皆様のように「唄いたい」と思うようになりました。

そこでカセットを買って、夜になったらイヤホンで、何回も何回も繰り返して聞いておりましたが、声を出して歌わなければ「だめ」だと思い、小さな声で歌ってみたりしておりました。

そのうち、公民館にすばらしいカラオケの機械が入りまして、皆様と共に声を出して歌うことができるようになり、うれしいことと思っています。

しかし、変な声が出たり、ふしまわしがうまくとれなかったり、自分ながらいやと思うことも多くあるのが実情です。

会長様や、志手様のおかげで、カラオケの同好会もでき、本当に楽しく大きな声で歌えるひとときを持てるようになりました。

こんごともよろしくお願ひ申します。

皆様　楽しく歌を唄って、元気ですごしまししょう

※ 河本周子様は、当初からの会員で、平成10年にご他界されました。

これは第10号（平成5年7月発行）に寄せられたものです。



## その後元気でやっています

川上 博

朋友会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年までは、皆様と共に朝日町で新年を迎えていましたが、十二年の新春は、北国札幌の地で迎えることとなり、人の世の移り変わりが、身にしみ感慨無量であります。

昨年四月末、皆様のご芳情を背に、こちらに移り住み、気候風土の全く異なる地で、七ヶ月余過ごして参りましたが、お陰さまで家族一同無事に年を越すことができそうで、喜んでおります。

北海道の冬の厳しさは、寒気降雪、内地では想像できない環境のようですが、まだ未経験の私には、その状況をお伝えできませんが、今日までの「春」「夏」「秋」の生活は快適にてこれからの冬場も何とか頑張り抜きたいと思っています。

老人会には、五月から入会、ゲートボール、月例会、旅行など出来るだけ参加するよう心がけてやってきました。

ゲートボールは札幌市でも最強のチームの一つで、春から秋は、グラウンドで、降雪の冬は屋根の板のコートで「特殊ボール」を使用して、年中休みなく練習がつづけられ、その熱意には驚かされ、私もなかなか上達しませんが、とに角頑張っているところです。

平成 11 年度の新年会で、お互いの年頭の目標を話し合いました。「禁煙」の目標を十月一日に、やっと達成いたしましたので、ご報告いたします。

平成十二年度の目標は「十月頃に、そちらに伺い皆様方にお会いする。」という再会!!の実現です。元気で、是非実現したいものと楽しみにしております。

※ 河上 博様は、長年会長としてご苦勞いただきました。平成 11 年春北海道へ転出されました。これは第 23 号（平成 12 年 1 月発行）よせられたものです。





## 楽しく充実した人生をすごそう

志手俊之

私達は、とにもかくにも大正—昭和—平成と三代（明治生まれは四代）わたって、激動の荒波の中を生き抜いてきました。楽しかった事、辛く悲しかった事、さまざまの体験をもって今日に至ったわけです。思えば長い長い道程でした。

寿命百歳といわれる現在、十代の子供たちは大人を称して、二十歳から二十四歳までを「アダルト」、二十五歳から二十九歳までを「オジン・オバン」、三十歳から三十五歳までを「ご先祖様」、三十六歳から三十九歳までを「基石」、四十歳以上はひっくり返して「化石」と呼んでいるとか。まさに私達は、「古代の化石」に属する年代になったと云うことです。

しかし、朋友会の方々は、なんと若々しく、元気で頼もしい「化石」群ではありませんか。私は朋友会の皆様方にお会いする度に若さが取り返せるような気がして、よい会の一員であることを感謝しています。

でも老後が長くなれば、それをどう生き抜いて行くかが大きな課題となります。

心身ともに健康——いうまでもない事ですが、やはりそれぞれ草臥れた部分ももっていますね。元気に楽しく生きるために、

1. 食い気——四区間で感謝して食べる。
2. しゃれ気——清潔なおしゃれ、男らしき女らしきを失わない。
3. しゃべり気——多いに人と話をしよう。

朋友会の「化石」達よ！ この三つの気を大切に、楽しく充実した人生をすごせるようがんばりましょう。

※ 志手俊之様は、副会長としてもご尽力いただきました。平成12年にご他界されました。これは第2号（平成元年7月発行）によせられたものです。

あさひ会・朋友会

平成 17 年秋季一泊旅行

《下呂温泉方面の旅》

平成 17 年 9 月 27 日 (火) ~ 28 日 (水) 実施

○ 行き先 岐阜下呂温泉, 高山方面 ほか

○ 参加者 (敬称略) 今年のみ

あさひ会

多山忠正  
大林正三  
永広眞太郎  
小田弘之  
梶野重子  
高野キス江  
多山八重子  
永広絹子

朋友会

綾野正美  
岩井精一郎  
木村泰治  
久保瑞祥  
松田為雄  
山本典之  
近藤芳枝  
杉本春美  
原田好子  
堀川美知江  
山本美也子  
言見

近隣お仲間

土田 強  
伊東文子  
武藤すみ子  
田中寿雄  
海知キヨエ  
岡崎松義  
岡崎カヅヨ

計 8 名

計 11 名

計 7 名

合計 26 名

○利用バス 奈良交通バス  
ドライバー  
ガイド  
添乗員 荻野良昭



妻籠宿



天保期(1843)には、宿場の町並みは約273m、江戸方から下町・中町・上町地形をばさんで寺下の町並み約80mが続いた。人口は418人、旅館数は31軒となっており、古くは三・八の六音市が許可されていた記録も残る。妻籠宿は、宿場の町並みとして見応えある景観である。現在は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、町並みには電柱がなく、幕末明治初めの雰囲気を残している。

行程(日程)

09/27 (火)  
 朝日町 8:30 精華学研IC—<京奈和自動車道/京滋バイパス>—瀬田東JCT—  
 <名神/中央道>—恵那IC—恵那峠:山菜園【昼食】 12:15~13:15  
 妻籠宿【散策】 14:00~15:00 舞台峠—下呂温泉【泊】 16:15頃  
 下呂温泉 8:30 高山市内観光【朝市や古い街並みの自由散策】 9:40~11:20  
 高山市内【昼食】 11:30~12:30 飛騨清見IC—<東海北陸自動車道/名神>  
 瀬田東JCT—<京道バイパス/京奈和自動車道>—精華学研IC

関係先電話番号

恵那峠 山菜園 (9.27 昼食場所) 0573-26-3195  
 下呂温泉 望川館 0576-25-2048  
 飛騨の里 袖金 (そまきん) 0577-33-5371  
 (9.28 昼食場所)

バスの座席

あさひ会の方 進行左側(歩道側)の前方席  
 朋友会の方 進行右側(運転席の後)の前方席  
 近隣お仲間 両側の後方席  
 車酔いの懸念がある方はお申し出あれば前方の席をリザーブいたします。

1.30  
 2.20  
 3.30

## 下呂温泉

岐阜県益田（ました）郡の益田川に沿い、高山神岡通  
以後発展した温泉町。湯のわき日は河床にあり、旅  
館は益田川の東岸に並ぶ。泉温 46～65℃の単純硫黄  
水素泉で、胃腸病、リュウマチ、皮膚病、痔疾に効か  
る。下流には峡谷美と紅葉で名高い中山七里がある。

江戸時代から三名泉として

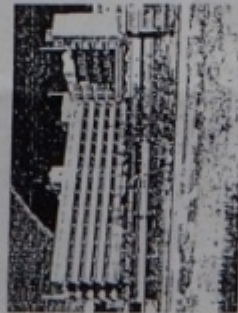
有馬・草津と並び称される

### 『下呂温泉』



## 望川館

100年ですべての家族を包摂するのは、  
100年の目標の創設期間。  
新しい価値観と必要を創造し、熊本、筑  
前県立した財団の心ある社会貢献の場を  
ひとときお楽しみください。望川館は、  
すべての客が心ゆく、望川川を眼下に見  
る。落ちるには落ちた。くつろぎので、  
望川館を心ゆくまでご堪能ください。



## 山水亭

西多摩に広がる緑豊かな山に、山  
のふもとに建つ。温泉の湯を  
入浴、温泉の湯を、温泉の湯を、



高山屋台会館 附設 中山温泉 岐阜県 高山市板町178番地 TEL<0577>32-5100(代) FAX<0577>32-5166(代) http://www.hida-hachiman.org





